



# 開き門扉 AR

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。  
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。

## ■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

### ■安全に関する記号と説明

#### ▲ 警告

・取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。

#### ▲ 注意

・取付けを誤った場合、使用者などが中程度の損傷・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

### ■情報に関する記号と説明

#### 施工上のお願ひ

・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。

・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

### ■ネジ等の締結部品の記号

ネジやナット等の締結部品を記号で示しています。(例：1a、1b、2a等)

締結部品の種類は「**■ 梱包明細表**」を参照してください。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

## □ 施工の前に

#### ▲ 警告

- 門扉は人や車が入り出すためのものです。使用用途、目的を踏まえた上で必ず安全な場所に設置してください。特に開閉時、扉が公道（道路面）に飛び出さないようにしてください。重大な事故につながるおそれがあります。

#### ▲ 注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。

#### 施工上のお願ひ

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工場所の寸法に製品が正しく納まるか確認してください。

## 施工上のご注意

### ▲ 注意

- 外開きタイプでは開閉時に扉が公道（道路面）等へ飛び出さない位置に設置してください。
- 門柱底面が栗石にとどかない場合、門柱に水抜き穴をあけてください。
- 製品破損による人への被害、物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。
  - ・ボルト・ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記締付けトルクで固定した後に、緩みがない事を確認してください。
  - ・ボルト・ネジは締付けすぎない（被結合部材の破損、ねじが塑性伸びを起こさない状態）ようにしてください。

ネジ種類	タップ側材質	
	鋼材	アルミ
φ4ネジ	1.5 N・m	1 N・m
M4ネジ		
M5ネジ	3 N・m	—
M6ボルト	5 N・m	2.5 N・m
M8ボルト	25 N・m	12.5 N・m

- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト・ネジなどにゆるみがないか確認してください。

### 施工上のお願


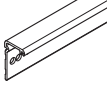

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
  - ・作業服および保護具（保護帽、安全带、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
  - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
  - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
  - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
  - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
  - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。


## 基礎工事について

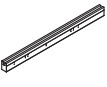








### ▲ 注意



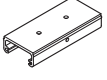
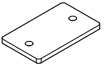



- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- 基礎部の埋込み深さは製品ごとに決まっていますが、現場によって（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
- 塩分を含む砂および塩素系のモルタル混和剤は使用しないでください。腐食の原因になります。
- コンクリート（またはモルタル）には、急結剤は使用しないでください。使用するとアルミが腐食する原因になります。













# 梱包明細表

【1】 門扉 縦格子本体 掛扉		
名称	略図	員数
掛扉本体		1
戸当り		1
【1a】φ4×13ナベドリルネジ		4

【2】 門扉 縦格子本体 受扉		
名称	略図	員数
受扉本体		1














【3】 門扉 吊元門柱 (右開き用/左開き用)			
名称	略図	員数	
		フェンス接続用	単独用
吊元門柱		1	1
門扉用ヒンジ		4	4
【3a】M16×225六角ボルト		2	2
【3b】M16平座金		4	4
【3c】M16袋ナット		2	2
【3d】M16×16六角穴付ボタンボルト		8	8
【3e】M16×25六角穴付ボタンボルト		8	8
【3f】M6バネ座金		16	16
【3g】M6平座金		56	56

【4】 門扉 戸当り門柱 (右開き用/左開き用)			
名称	略図	員数	
		片開用	両開用
戸当り門柱		1	1
ストライクケース		1	1
ストライクベース		4	4
ストライクケースキャップ		2	2
【4a】φ4×20ナベタッピンネジ3種		8	8
【4b】φ4×13サラドリルネジ		8	8
【4c】φ4×10トラスタッピンネジ		4	4




【5】 門扉 ラッチ錠 片開き		
名称	略図	員数
ケースハンドル		1
ケースハンドルラッチ		1
鎌デッド錠(シリンダー付)		2
フロント		2
ラッチストライク		1
鎌錠ストライク		2
シリンダーキー		6
【5a】M5×25サラ小ネジ(錠用)		2
【5b】M4×12サラ小ネジ(錠用)		4
【5c】M4×14サラ小ネジ(錠用)		8
【5d】M5×12サラ小ネジ(錠用)		4
※φ4×25サラ木ネジ		12
取付説明書EXM-115	—	1
取扱説明書EXM-116	—	1




※サラ木ネジは錠に標準付属されていますが使用しません。







## 梱包明細表

【6】 門扉 ラッチ錠 両開き		
名称	略図	員数
ケースハンドル		1
ケースハンドルラッチ		1
鎌デッド錠(シリンダー付)		2
フロント		2
ラッチストライク		1
鎌錠ストライク		2
シリンダーキー		6
落し棒受け		1
【6a】M5×25サラ小ネジ(錠用)		2
【6b】M4×12サラ小ネジ(錠用)		4
【6c】M4×14サラ小ネジ(錠用)		8
【6d】M5×12サラ小ネジ(錠用)		4
※φ4×25サラ木ネジ		12
取付説明書EXM-115	—	1
取扱説明書EXM-116	—	1

※サラ木ネジは錠に標準付属されていますが使用しません。

【7】 縦格子 胴縁継手			
名称	略図	員数	
		3個入	4個入
胴縁継手		1	1
【7a】φ4×16トラスタッピンネジ3種		6	8
【7b】φ4×25サラタッピンネジ3種		12	16

【8】 縦格子 胴縁キャップ			
名称	略図	員数	
		6個入	8個入
胴縁キャップ		6	8
【8a】φ4×16トラスタッピンネジ3種		6	8
【8b】φ4×25サラタッピンネジ3種		12	16
取付説明書	—	1	1

【9】 縦格子 壁付け金具			
名称	略図	員数	
		6個入	8個入
壁付け金具(右)		3	4
壁付け金具(左)		3	4
【9a】M6×12サラ小ネジ		12	16
【9b】M4×10トラス小ネジ		6	8
【9c】φ4×20トラスタッピンネジ3種		6	8
【9d】φ4×25サラタッピンネジ3種		12	16

## チェックリスト

※下記項目は重要事項ですので必ず点検してください。

### ●ネジ締め

No.	ページ	チェック内容	
1	5~10	正しいネジを使用して推奨トルクで取付け、ゆるみがないことを確認しましたか。	<input type="checkbox"/>

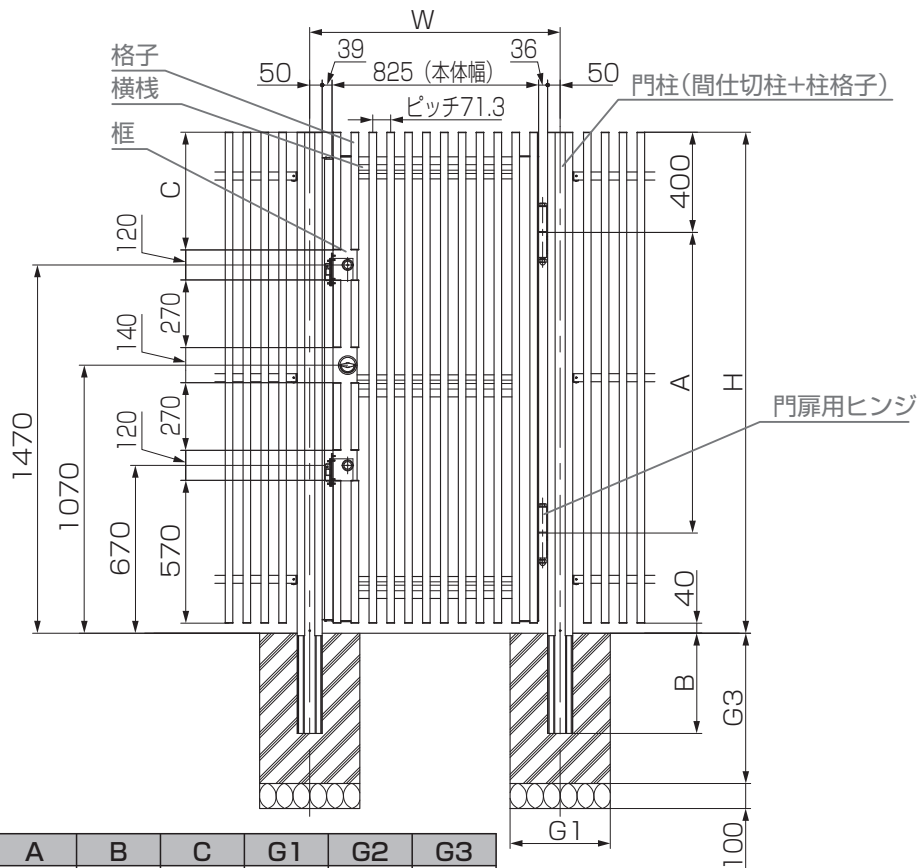
### ●取付け

No.	ページ	チェック内容	
1	9	ラッチの向きを確認しましたか。	<input type="checkbox"/>
2	6~8	寸法指示に従って施工しましたか。	<input type="checkbox"/>
3	7~8 10	各部部品の取付け向きを確認しましたか。	<input type="checkbox"/>

# 基本寸法

※基礎は参考寸法です。

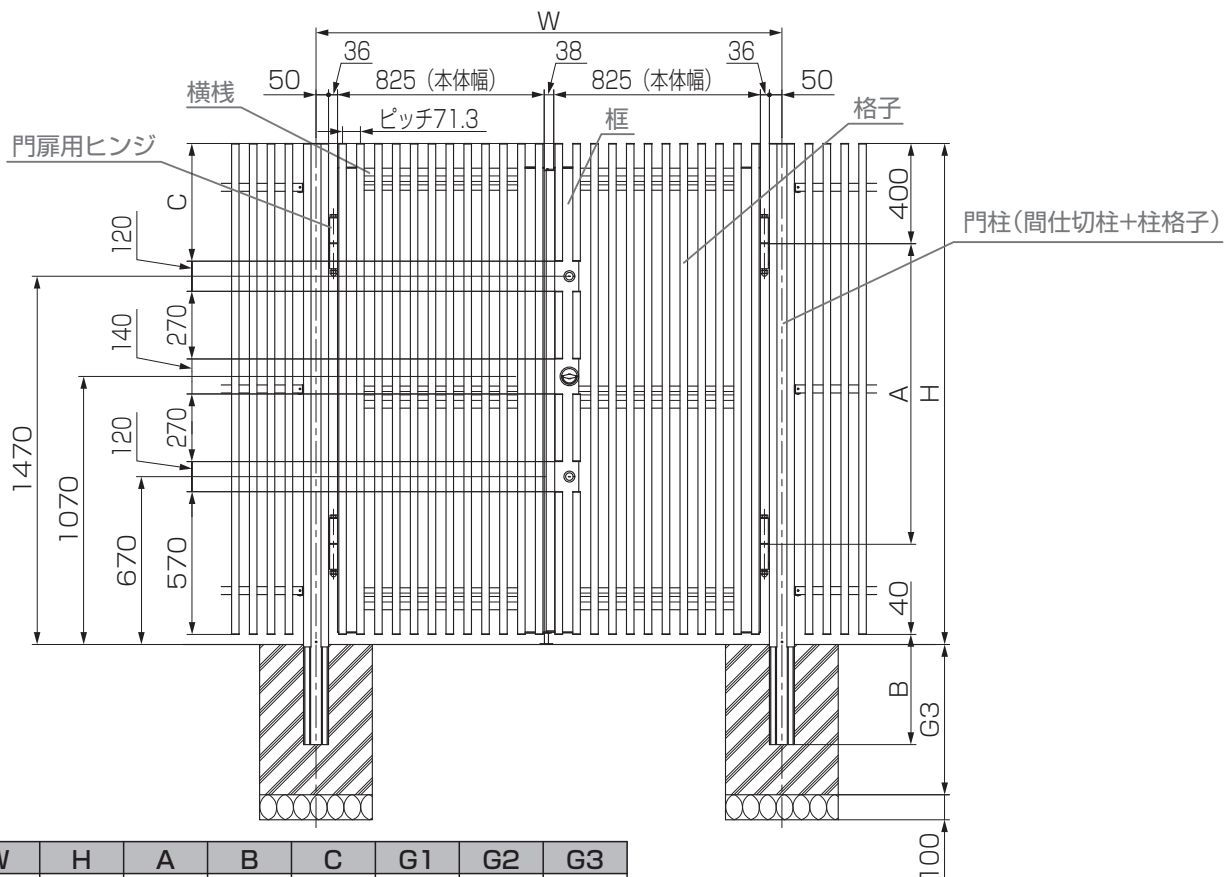
## 1-1 片開き



●表1-1

呼称	W	H	A	B	C	G1	G2	G3
10-18	1000	1800	1000	350	270	400	400	500
10-20	1000	2000	1200	400	470	400	400	600

## 1-2 両開き

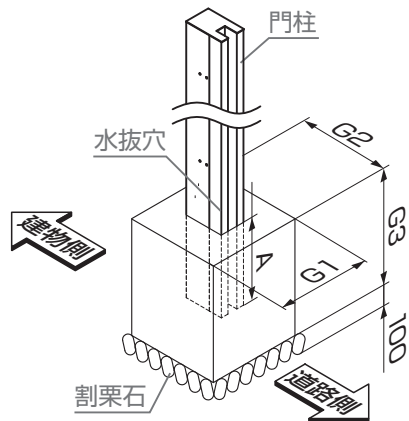


●表1-2

呼称	W	H	A	B	C	G1	G2	G3
10-18	1860	1800	1000	350	270	450	450	500
10-20	1860	2000	1200	400	470	450	450	600

# 1 門扉の施工

## 1-1 門扉の施工



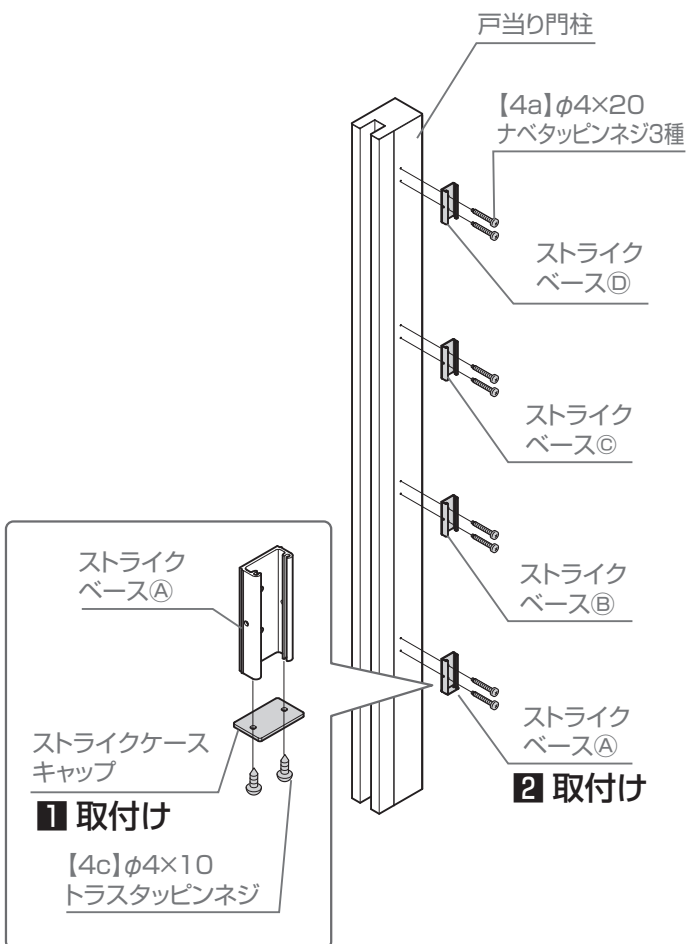
呼称	A	G1	G2	G3
H-1800	350	400(450)	400(450)	500
H-2000	400	400(450)	400(450)	600

※()内寸法は両開きの場合です。

※フェンスと接続される場合はフェンス本体の基礎寸法と同じ大きさにしてください。

## 1-2 片開き門扉の施工 ※図は右開き仕様の 場合を示します。

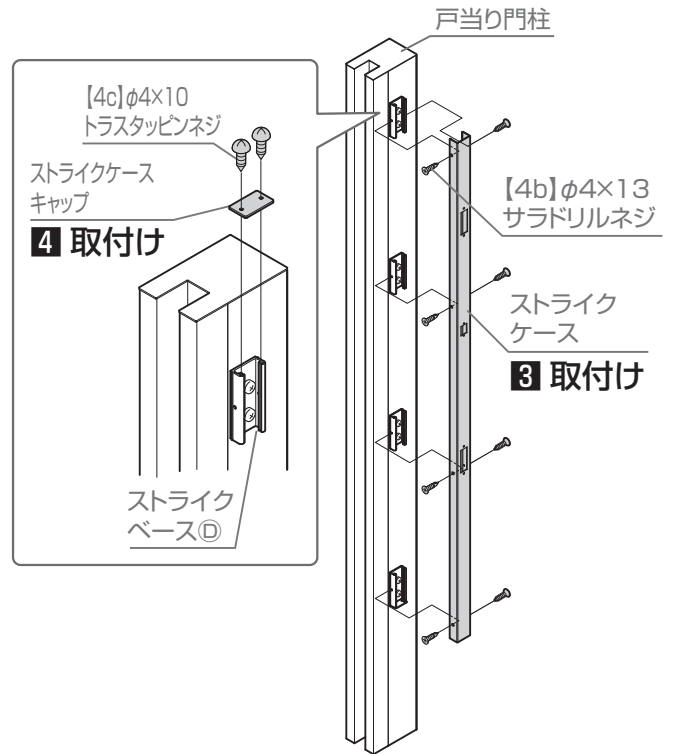
- 1: ストライクケースキャップを、ストライクベース④に【4c】で取付け
- 2: ④～⑧のストライクベースを戸当り門柱の内側側面に【4a】で取付け



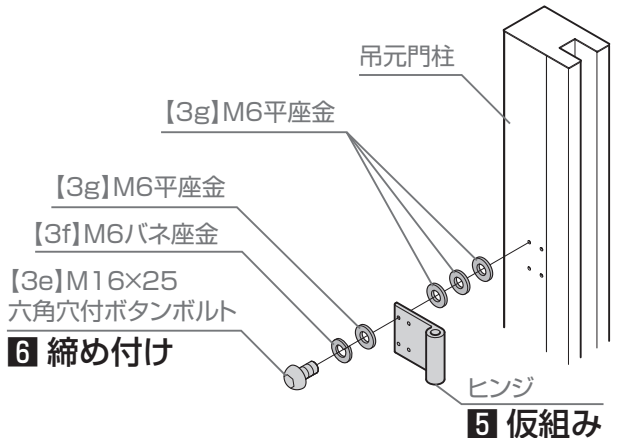
## 1-2 片開き門扉の施工

つづき

- 3: ストライクケースを③で取付けたストライクベースに【4b】で取付け
- 4: ストライクケースキャップを、ストライクベース④に【4c】で取付け

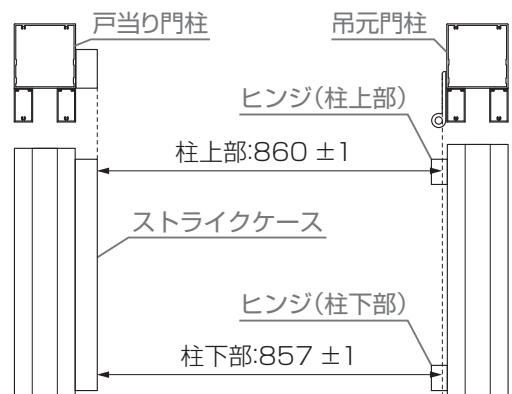


- 5: 吊元門柱の内側側面に【3e】、【3f】、【3g】でヒンジを仮組み
- 6: ヒンジと吊元門柱の間に【3g】を入れて【3e】を締め付け(4ヶ所)



### 施工上のお願

- 独立の場合【3g】M6平座金を使用し、下記の寸法を参考に柱上下部の間隔を調整してください。



# 1 門扉の施工

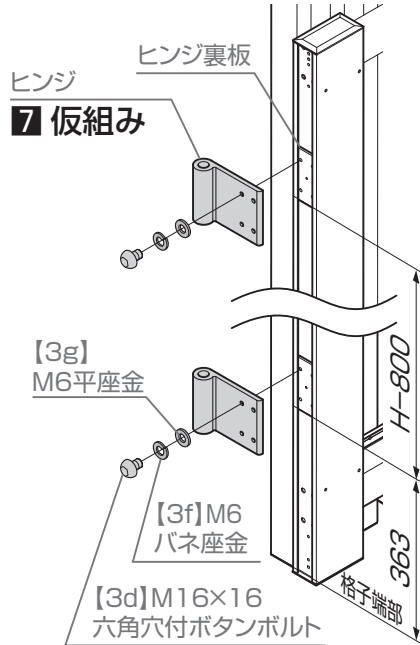
## 1-2 片開き門扉の施工

つづき

7: 門扉本体の吊元側枠に入っているヒンジ裏板2個に、ヒンジ2個を【3d】、【3-f】、【3-g】で仮組み

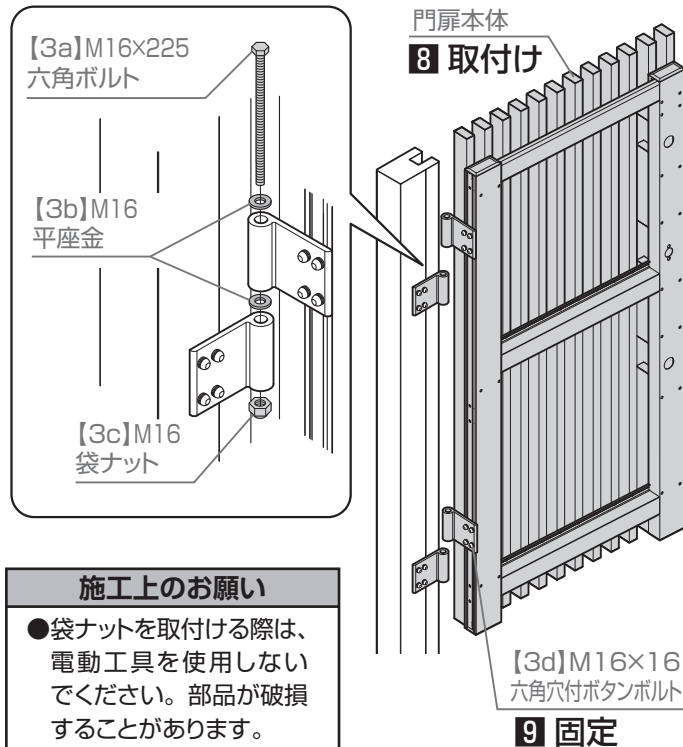
### 施工上のお願い

●ヒンジ取付け位置が図の位置に来るように調整してください。



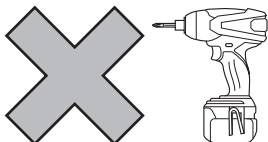
### 7 仮組み

8: 門扉本体を吊元門柱のヒンジに、【3a】、【3b】、【3c】で取付け  
9: ヒンジの間に隙間の無いように間隔を調整し、7で仮組みした【3d】を締め付けて固定



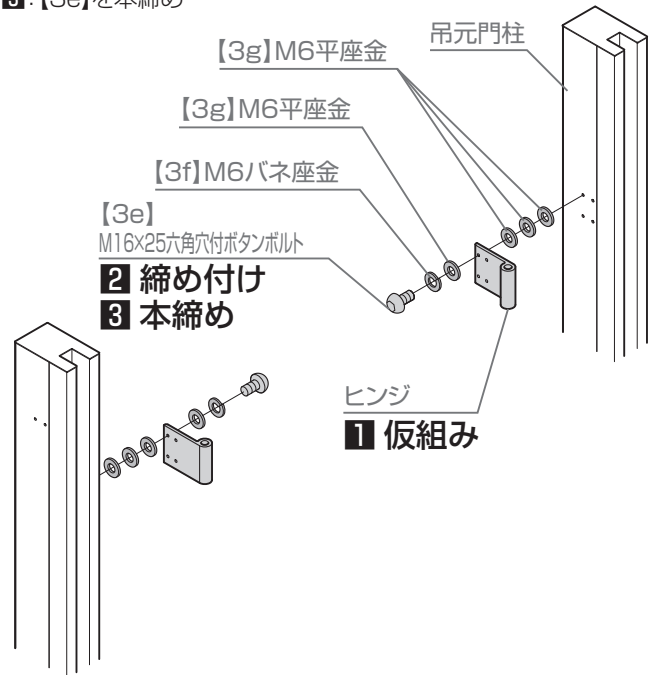
### 施工上のお願い

●袋ナットを取付ける際は、電動工具を使用しないでください。部品が破損することがあります。



## 1-3 両開き門扉の施工

1: 吊元門柱の内側側面に【3e】、【3f】、【3g】でヒンジを仮組み  
2: ヒンジと吊元門柱の間に【3g】を入れて【3e】を締め付け(4ヶ所)  
3: 【3e】を本締め

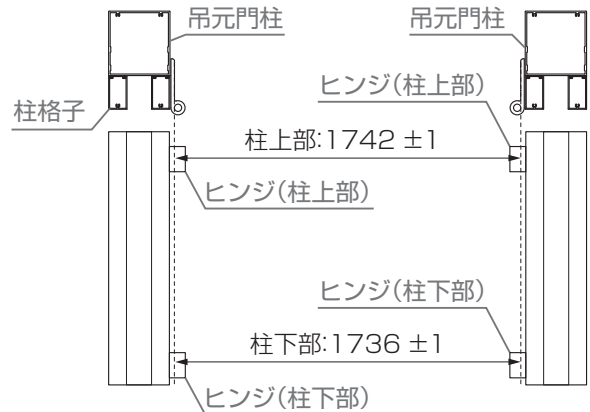


### 1 仮組み

2 締め付け  
3 本締め

### 施工上のお願い

●独立の場合【3g】M6平座金を使用し、下記の寸法を参考に柱上下部の間隔を調整してください。





# 1 門扉の施工

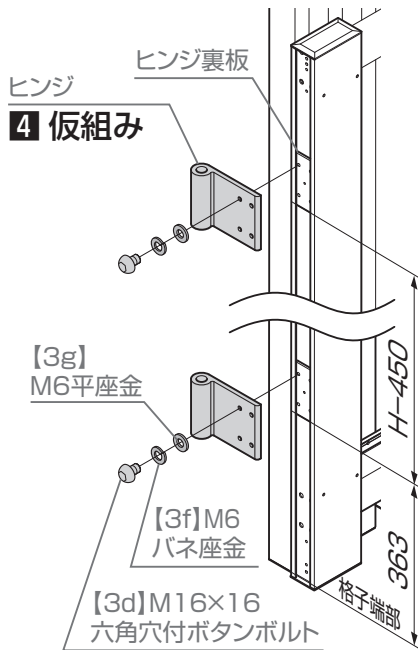
## 1-3 両開き門扉の施工

つづき

4: 門扉本体の吊元側框に入っているヒンジ裏板2個に、ヒンジ2個を【3d】、【3f】、【3g】で仮組み

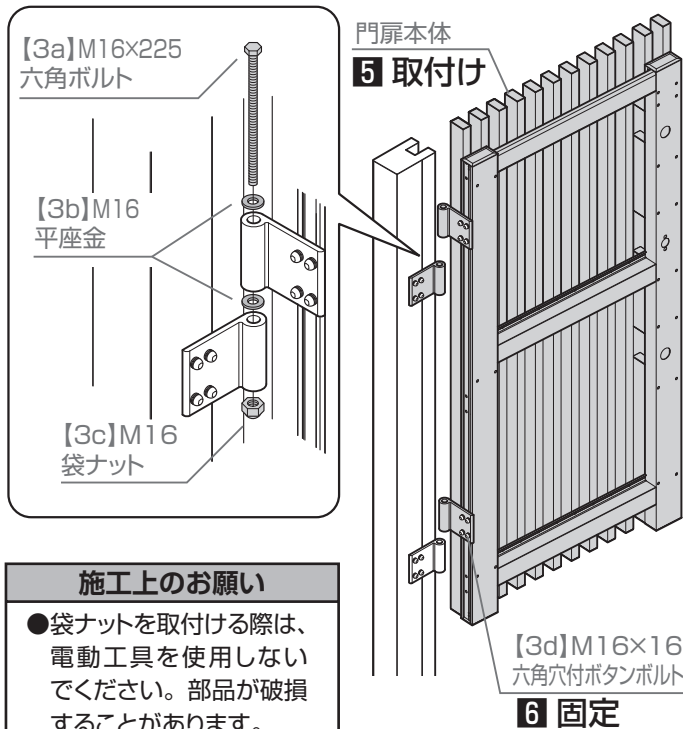
### 施工上のお願い

- ヒンジ取付け位置が図の位置に来るように調整してください。
- ※掛扉側と受扉側の両方向同じ作業を行なってください。



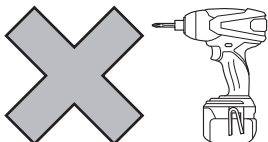
5: 門扉本体を吊元門柱のヒンジに、【3a】、【3b】、【3c】で取付け

6: ヒンジの間に隙間の無いように間隔を調整し、4で仮組みした【3d】を締め付けて固定



### 施工上のお願い

- 袋ナットを取付ける際は、電動工具を使用しないでください。部品が破損することがあります。

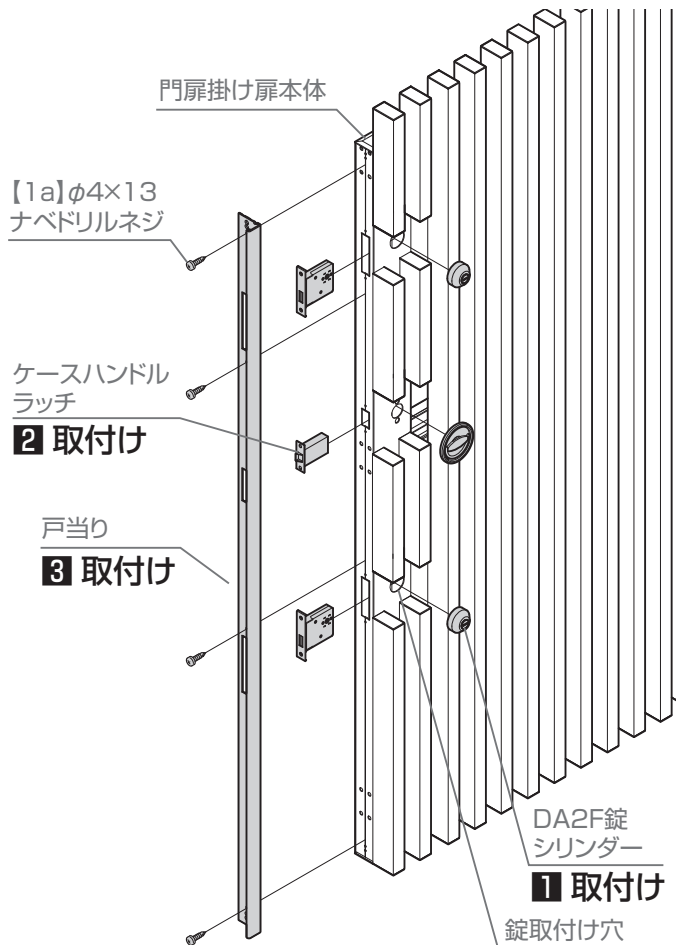


## 1-4 錠・戸当りの取付け

1: 門扉掛け扉の錠取付け穴に、同梱の美和ロック錠取付け方法を参照しながら取付け

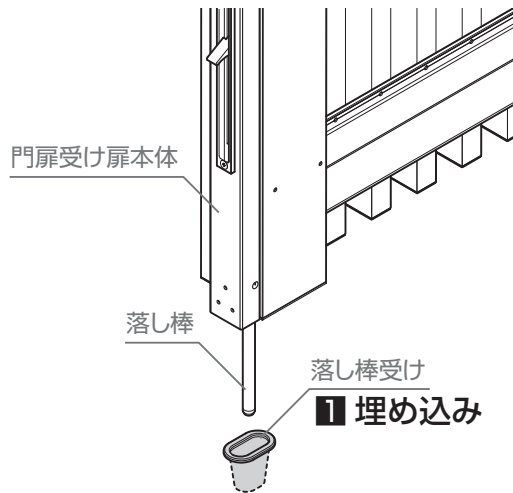
2: ストライクケースのストライク取付け穴にストライクを取付け

3: 戸当りを掛け扉戸先に【1a】で取付け



## 1-5 落とし棒受けの埋め込み ※両開きの場合のみ

1: 受け門扉を閉じた状態のG.L.面の落とし棒の入る位置に落とし棒受けを埋め込み





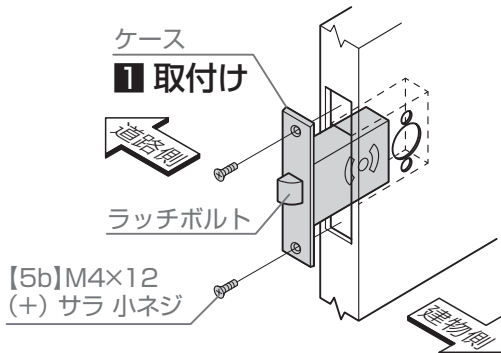
# 1 門扉の施工

## 1-6 錠の取付け

1: ケースを取付け穴に【5b】で取付け

### 施工上のお願い

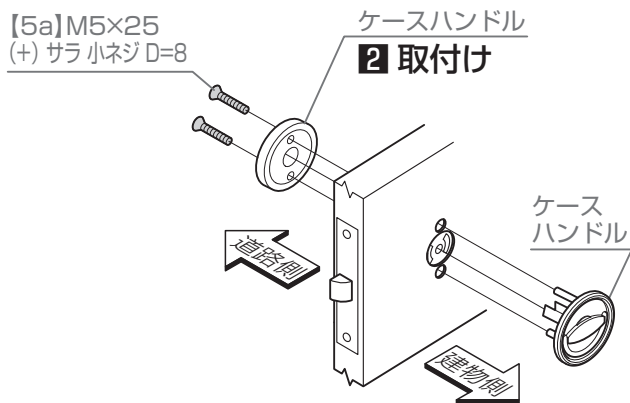
●ラッチボルトの向きに注意してください。



2: ケースハンドルをケース穴に挿入し【5a】で取付け

### 施工上のお願い

●ネジを締めすぎないように注意してください。

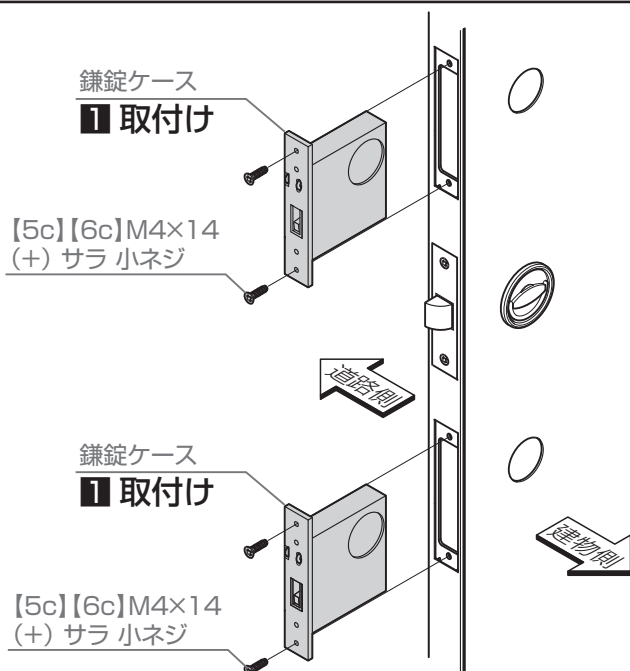


## 1-7 鎌錠ケースの取付け

1: 上下2カ所に鎌錠ケースを【5c】または【6c】で取付け

### 施工上のお願い

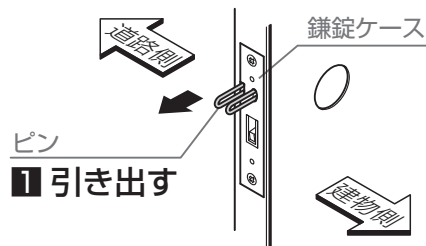
●鎌錠ケースの上下を確認して取付けてください。



## 1-8 シリンダーの取付け

※上下2カ所で同じ作業を行なってください。

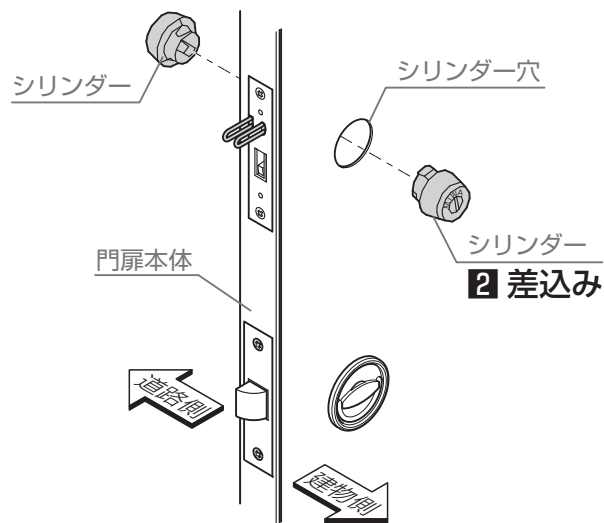
1: 鎌錠ケースからピンを引き出す



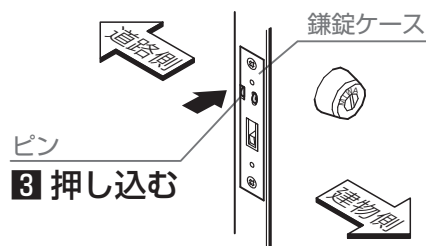
2: シリンダーをシリンダー穴に差込み

### 施工上のお願い

●この時にシリンダーに刻印されている文字(MIWA)が上下さかさまにならないように、ご注意ください。



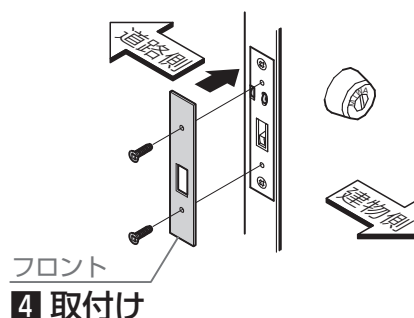
3: ピンを鎌錠ケース内に押し込む



### 施工上のお願い

●ピンが元の状態にならない場合は、軽くたたいて戻してください。

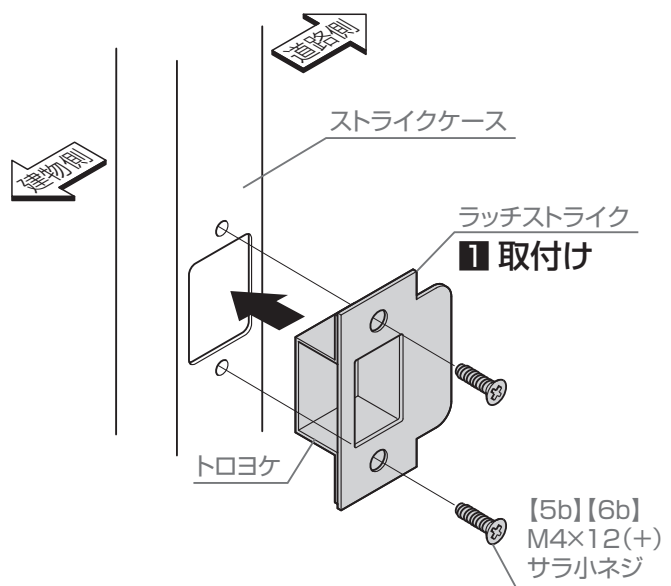
4: フロント部分を鎌錠ケースにネジで取付け



## 2 錠受け金具の取付け

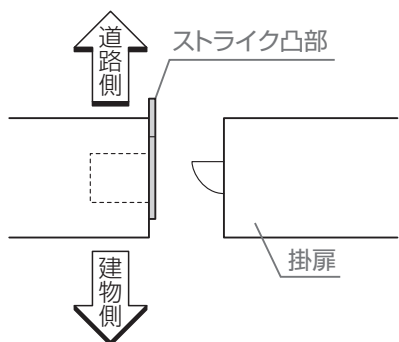
### 2-1 ラッチ錠ストライクの取付け

■1: トロヨケと重ねたラッチストライクをストライクケースに【5b】または【6b】で取付け



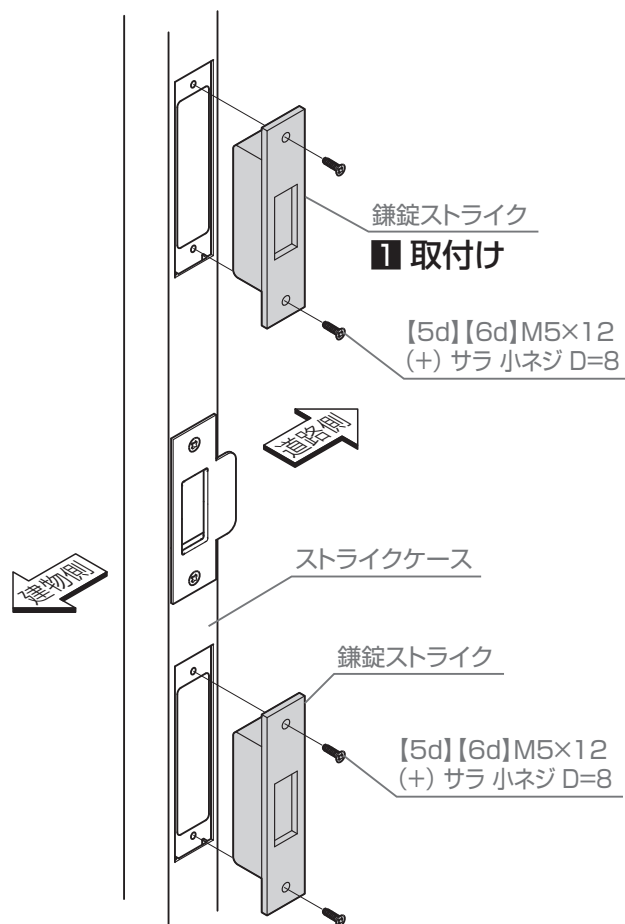
#### 施工上のお願い

●ストライクの凸部を道路側に向けて取付けてください。



### 2-2 鎌錠ストライクの取付け

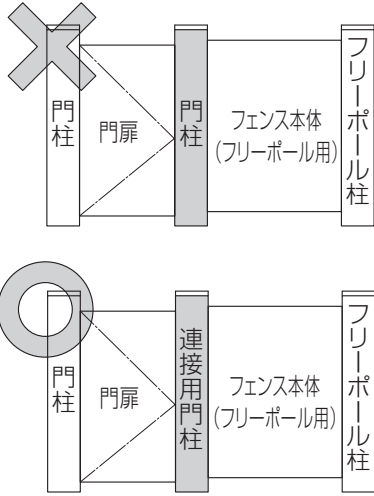
■1: 鎌錠ストライクをストライクケースに【5d】または【6d】で取付け



# 3 門柱にフリーポール仕様のフェンスを接続する場合

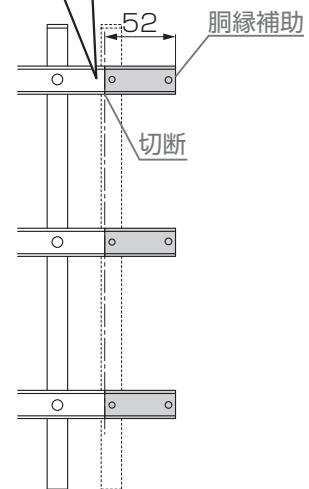
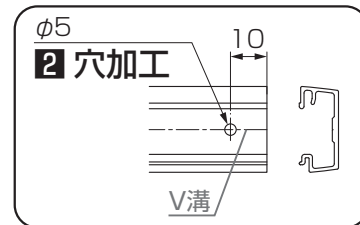
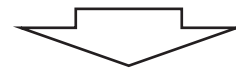
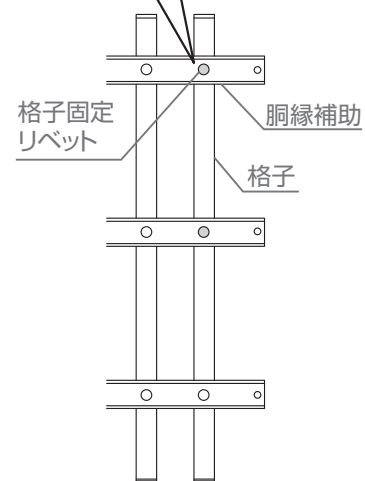
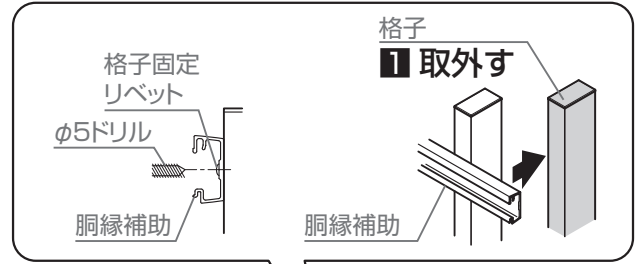
## 施工上のお願い

- 単独用の門柱にはフェンス本体の取付けができません。  
(フェンス胴縁取付け用の加工穴がないため)  
必ず接続用門柱にフェンス本体を取付けるようにしてください。



## 3-2 フェンス本体 (フリーポール用) の幅調整

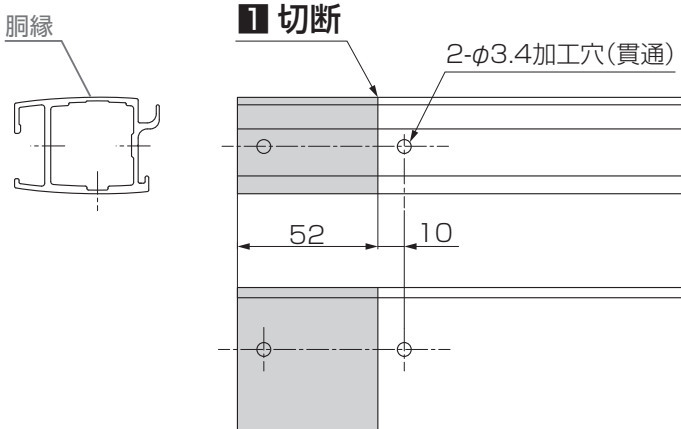
- 1: 端部の格子と胴縁補助を固定しているリベットをφ5のドリルで貫通穴をあけ、格子を取外す
- 2: 胴縁補助の端部を切断しφ5の穴加工



## 3-1 フリーポール用胴縁セットの加工

※図は門柱の右側にフェンスを接続する場合です。  
左側にフェンスを接続する場合は対称の加工を行ってください。

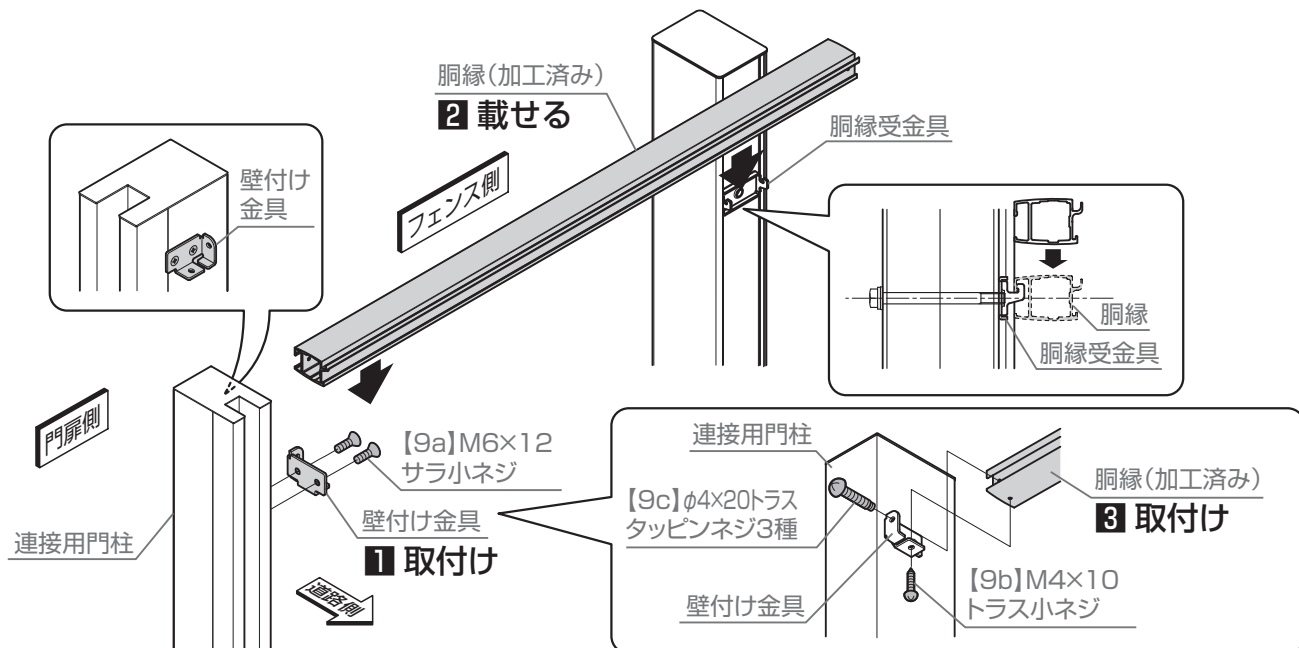
- 1: 門柱に接続する側の胴縁の端部を切断



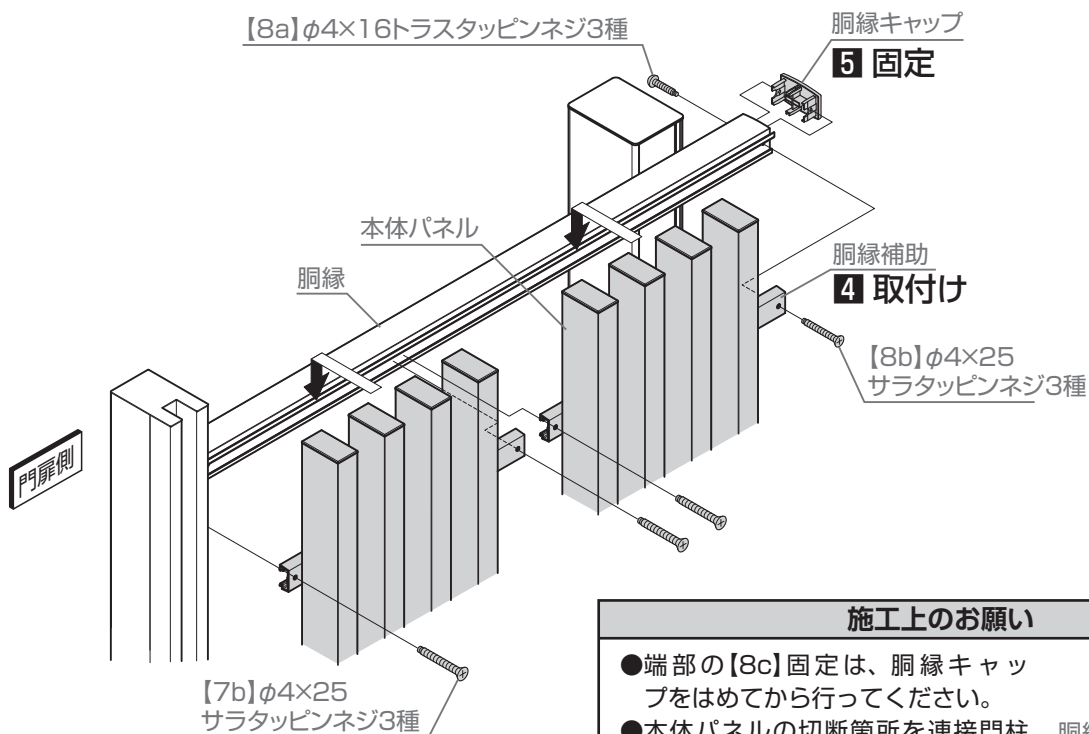
### 3 門柱にフリーポール仕様のフェンスを接続する場合

#### 3-3 本体パネルの取付け

- 1: 壁付け金具を接続用門柱に【9a】で取付け
- 2: 加工した胴縁を胴縁受金具と壁付け金具に載せる
- 3: 胴縁と壁付け金具を【9b】、【9c】で取付け

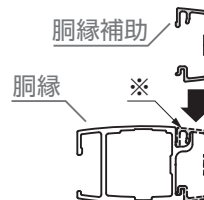


- 4: 本体パネルの胴縁補助を胴縁に引っ掛けて、【7b】または【8b】で取付け
- 5: 端部に胴縁キャップまたは胴縁継手をはめて、【7a】または【8a】、【7b】または【8b】で固定



#### 施工上のお願い

- 端部の【8c】固定は、胴縁キャップをはめてから行ってください。
- 本体パネルの切断箇所を接続門柱側にして取付けてください。
- 胴縁と胴縁補助の天面(※)が揃っていることを確認してください。



取説コード

EXM-115

JZZ638714  
202307\_1049